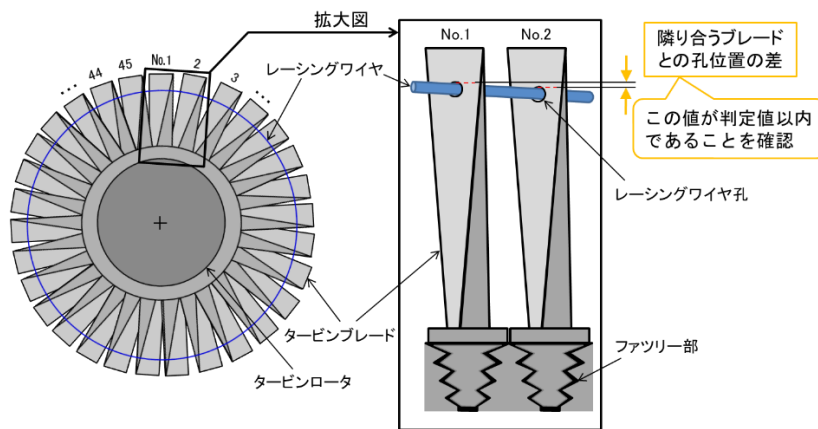


泊発電所3号機 非常用ディーゼル発電機(A)の過給機 点検結果報告について

東京電力ホールディングス株式会社柏崎刈羽原子力発電所1号機で発生した非常用ディーゼル発電機(以下「D/G」という。)(B)過給機軸固着事象に関連し、泊発電所3号機D/G(A)の過給機点検を2022年2月から同年3月にかけて、実施したことから、その点検結果を報告する。

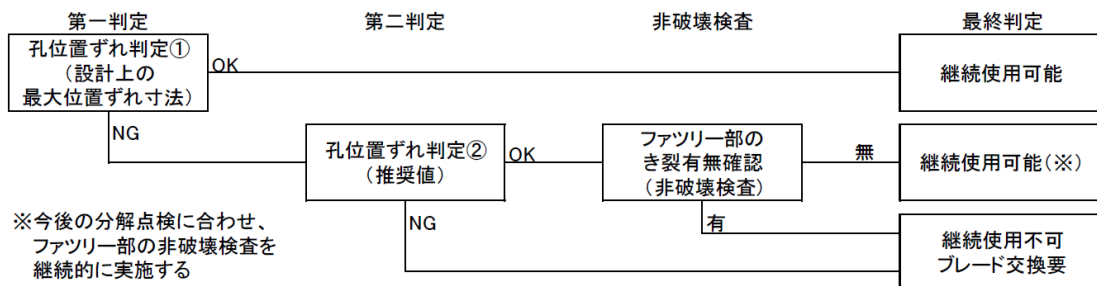
1. 点検内容

本D/Gには、過給機が2台設置されている。それぞれのタービンブレード(45枚)に対し、専用計測器にて、隣り合うブレードとの孔位置の差を計測し、第1判定(設計上の最大位置ずれ寸法:0.22mm)以内であることを確認する。第一判定を満足しない場合は、第二判定(推奨値:0.60mm)および非破壊検査により、継続使用の可否について判定する。



レーシングワイヤ孔計測位置概要図

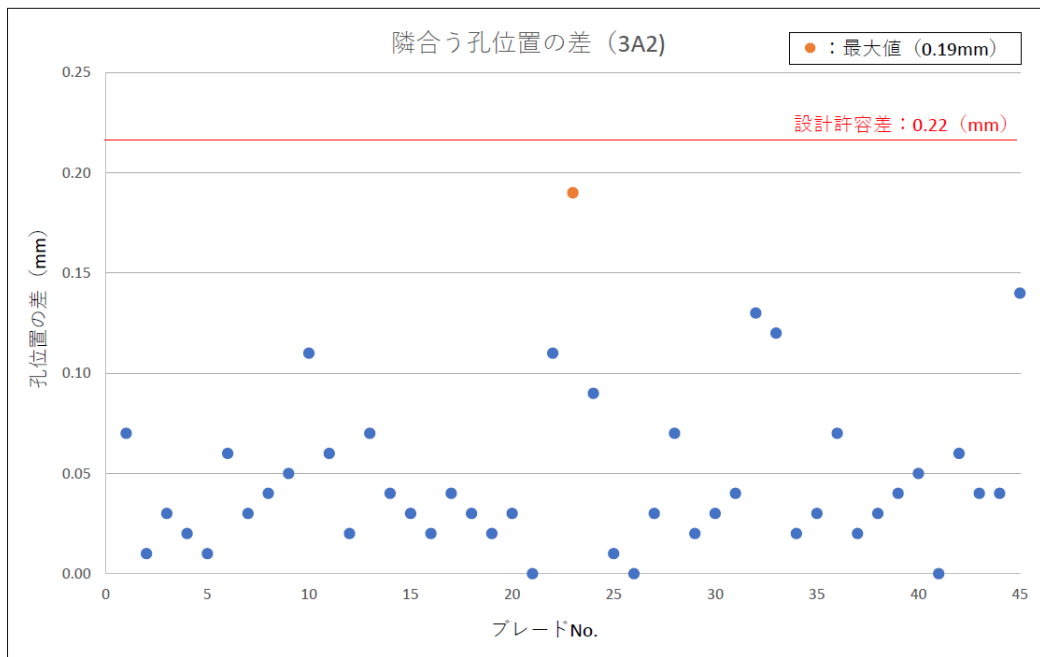
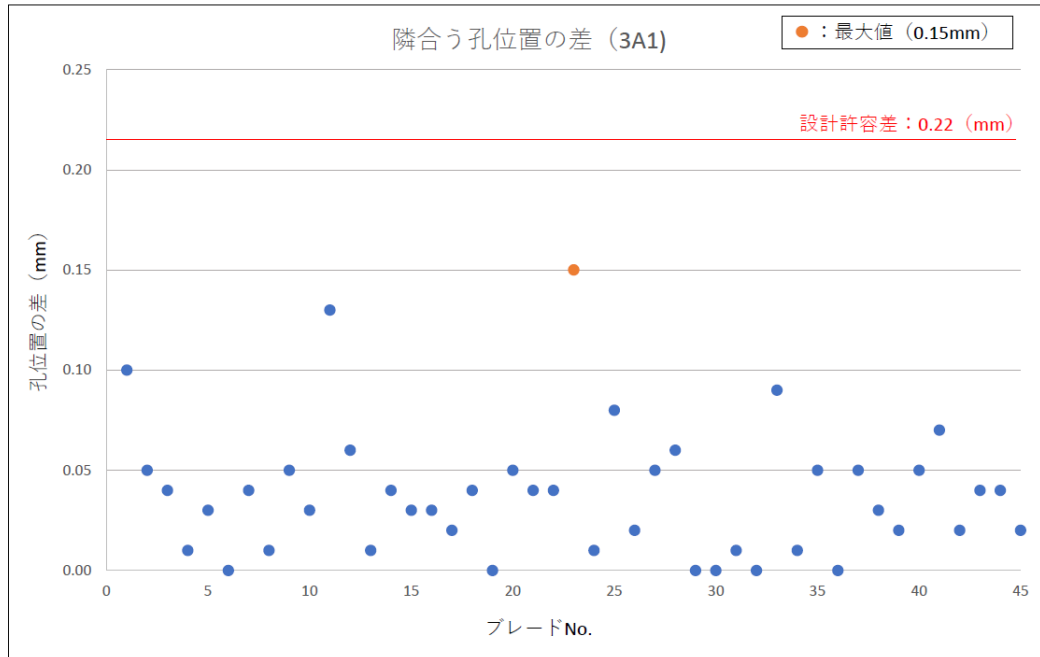
○継続使用可否判定フロー



※今後の分解点検に合わせ、
ファツリー部の非破壊検査を
継続的に実施する

2. 点検結果

隣り合うブレードとの孔位置の差は最大で0.19mmであり、全て設計上の最大位置ずれ寸法(0.22mm)以内であった。また、点検後のD/G試運転において、過給機を含めてD/G全体に異常のないことを確認している。以上から、継続使用可能と判断した。



以上